

## 令和4年度 第2回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録（要点筆記）

日 時：令和5年1月17日（火）午前10時から午前11時10分まで

場 所：江別市民会館3階37号室

出席委員：田口智子座長、龍田昌樹座長代理、粕谷堅一郎委員、伊藤留美子委員  
布施望委員、田邊禎明委員、亀山和美委員、大川尚委員  
腰原久郎委員、荒木太郎委員（計10名）

オブザーバー：阿部真理石狩振興局地域創生部長

欠席者：福沢康弘委員、小西祐哉委員

事務局：川上企画政策部長、伊藤次長、水口政策推進課参事、北島主査、眞鍋主査

傍聴者：なし

### 会議概要

#### 1 開会

#### 2 議事（1）第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について、事務局説明 ○田口座長

旧町村農場の改修に関して3点質問する。

1点目については、観光施設として改修するに当たり、駐車場を広げる予定はあるか。また、当該施設は住宅地の中にあると認識しているが、地域住民への対応をどのように考えているか、お伺いしたい。

2点目については、1億円近くが江別市の支出となっているが、今後、当施設からの収入源などを検討しているか、お伺いしたい。

3点目については、先般、国が公表したデジタル田園都市国家構想総合戦略に関して、現時点での江別市の検討状況及び今年度からデジタルに関する新しい部署ができたと聞いているので、そこでの取組状況について、お伺いしたい。

#### ○事務局

1点目について、旧町村農場の駐車場は、今回の改修で駐車場を広げる予定はないが、多くの人々が来場することが想定されることから、事前に公共交通機関を利用してもらうよう案内するほか、イベント等を行う際には駐車場に整理員を配置するなど、混乱が起きないように努めていきたい。

また、近隣住民への理解については、今回の改修に当たり、ワークショップを開催した中でも、観光施設として有効活用してほしいという意見があった一方で、住宅地にあるので今の穏やかな環境を崩さない、維持してほしいという意見もあったと聞いている。改修して良かったと思ってもらえるよう、地域住民にも利用しやすい施設にしていきたい。

2点目について、今回の改修に当たっては、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して実施することになるが、本交付金の活用には、稼ぐ仕組みの構築を求められている。今回の改修により、新しく店舗等を整備することになるので、そこでの売上金等を活用しながら、少しでも維持費を削減する仕組みを整えていきたいと考えている。

3点目について、国は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改定し、デジタル田園都市国家構想総合戦略として、来年度から推進していくこととしている。江別市としては、一定の成果が出ている現行の総合戦略を推進していくことが重要であると考えており、現時点で、すぐに総合戦略をデジタルを中心としたものに改定する予定はないが、国や北海道の動向を注視しながら、必要に応じて、改定を検討したいと考えている。

また、江別市では今年度から企画政策部内にデジタル政策室という新たな部署を設け、デジタル政策を推し進めている。デジタルを活用し、どのように江別市を活性させていくのか、まさに検討を行っている最中である。

○田口座長

地域住民とのワークショップを行い、しっかりと市民の声を聞いていると分かり安心した。駐車場に関しても様々な工夫を行うとのことなので期待したいと思う。

私の知る様々な事例に鑑みると、このような改修を行うと、地域で必ず反対は出てくるが、地域を巻き込んだ雇用や住民のメリットになる有益なものを示すことにより、逆に地域との協働が活性化する事例もあるので、地域資源を活用しながら、そのような仕組みを検討していただきたい。

デジタル分野についても、江別市の地域特性に合わせてデジタル政策室で検討を重ねられるということはとても良いことだと思う。ただし、重要なのは、機能と使い方だと思うのでデジタル分野に詳しい方との検討だけではなく、様々な方を巻き込んだ検討を行っていただきたいと思う。

各委員から質問、意見はないか。

○荒木委員

旧町村農場に関して、現在、冬期間は閉館しているとのことだが、改修後は、どの程度の来場者を見込んでいるのか。冬期に開館するとなれば、除雪代などもかかるので、費用対効果も考えなければならないのではないか。

○事務局

冬場の来場者は、夏場と比較すると少なくなると想定している。今、資料が手元になく、正確な数字は申し上げられないが、冬期でも来ていただけるような施設にしたいと考えている。

○荒木委員

了解した。

○布施委員

今回の改修では、イベントスペース、売店、イートインスペースなどの整備が掲げられている。具体的になっていない部分もあると思うが、実際に運営するならばどこが運営するか決まっていれば教えてほしい。

○事務局

現時点では、申し上げられないが、適切に運営できるところにお願いしたいと考えている。

○布施委員

もう1点、旧町村農場が観光施設として認知されたときに、例えば、大型の観光バスで来場することは想定できるか。

○事務局

KPIで掲げているが、江別市の周遊観光を進めたいと考えている。そのため、江別市旧町村農場のみならず、様々な江別市の魅力的なスポットに立ち寄っていただきたいと考えていることから、観光バスでの来場も想定されると考えている。

○布施委員

了解した。

○伊藤委員

旧町村農場は、近くに江別蔦屋書店があり、休日にはかなりの人で賑わっているのですが、その人の流れを作るためにも、通年で乳製品が食べられるようになると、とても良いのではないかと思います。

○事務局

立地的には江別蔦屋書店のすぐ近くということで、周遊観光施設としての潜在的な需要はあると考えている。一方、施設自体は、設備の問題でレストランなどの整備はできないため、例えば、夏場は江別産の農作物を焼いて食べられるイベントを開催するなど、江別市の魅力を感じられるような取組を検討していきたいと考えている。

○伊藤委員

了解した。

○龍田座長代理

施設名は、旧町村農場となっているが、町村農場に特化した施設になるのか。

○事務局

旧町村農場という名称であるが、町村農場の関係だけではなく、広く酪農の歴史を伝える施設である。

○龍田座長代理

了解した。そうであるならば、篠津にある町村農場と客層が重複しない施設にできると思う。市内には、酪農をされている方がたくさんいるので、市内の酪農や酪農から生まれる製品の振興を伝えるアンテナショップとしての機能があると良いと思う。

現状を見ると、老朽化しており、物品を売る、歴史を伝える施設になるか疑問に感じる部分もあるが、近代化産業遺産に認定された建物そのものに非常に価値があると認識しているため、活用の仕方次第では、可能性は大いにある。

また、市民でも当施設を訪れたことのある人は少ないと思うので、近代化産業遺産としての価値を含め、江別市の魅力を感じられ、市民も足を運びたいと思える施設にしていきたい。

○事務局

当施設は、経済産業省が認定する近代化産業遺産と位置づけられているが、今、龍田座長代理から話があったとおり、老朽化が進んでおり、昨年度の大雪で一部破損するようなことがあった。

また、旧町村農場が冬期間閉鎖していた理由として、断熱材が入っていないことがある。今回の改修で近代化産業遺産ということ意識して、外観を大きく変えることはせず、老朽化した部分を改修しながら、断熱材を入れて通年で使える魅力的な施設にしたいと考えてい

る。

○龍田座長代理

今回追加するK P Iは、旧町村農場を拠点として周遊観光を目指していることから掲げたものであることは理解した。しかし、把握するにはとても複雑なK P Iであると思うが、どのような手法で把握する予定なのかお伺いしたい。

○事務局

当該K P Iで掲げている周遊人数だが、把握する手法として、アンケート調査を実施することを予定している。具体的な内容は、これから検討していくことになるが、他の施設にも行って旧町村農場に来られたのか、また、旧町村農場に来た後に他の施設に行く予定があるのかといったことが分かる内容のアンケート調査を行いたいと考えている。

また、周遊観光を進めるに当たっては、その内容をしっかりと提案をしなければならないと思っている。当施設のみならず、他の地域資源を有効活用しながら、他の施設と連携、さらに、近隣市町村とも連携することで、江別市周辺を一体的に捉えて、魅力的な観光振興に努めたいと考えている。

○龍田座長代理

役所目線で必要な数値であることは理解しているが、把握するのは非常に難しいと感じる。また、我々市民が、そのような数値を知りたいかということ、恐らく不要な数値だと思う。例えば、旧町村農場が改修されたことで、近隣の施設の来場者が増えたとすれば、その増えた人数が、旧町村農場ができたことによる効果であると捉えるなど、複雑な手法で数値を把握するのではなく、一定程度予測や推測で判断しても良いのではないかと感じる。今後、かなり難しい数字の取り方をあえてK P Iに持ってきたということに対しては、後々批判されるのではないかという不安があり、今回指摘した。

いずれにしても、大変すばらしい施設だと思う。江別市が誇る酪農の技術、また、酪農から生まれる様々な製品の発信の場としては期待できる場になる可能性があるため、引き続き練りに練ったプランを立て、上手に運営していただきたいと思う。

○田口座長

先ほどの龍田座長代理の視点はとても重要なことだと思う。周遊観光がうまく進めば、様々な場所に人が集まり、自然と活性化すると思われる。

最後に、市内の周遊観光を進めるに当たっては、先ほど龍田座長代理からも説明があったが、市内には、北海道の開拓に関わる重要な文化財など、様々な地域資源があるため、新しいものに目を向けることも重要である一方で、今ある資源も有効活用しながら地方創生の取組を行っていただければと思う。

議事（２）令和５年度地方創生関係交付金申請予定事業について、事務局説明

○田口座長

今回申請する事業は、４年目、５年目の事業になるが、コロナ禍という環境下において、思いどおり事業を行えなかったものもあったのではないかと推察する。

今回、申請する事業において、その辺りをどのように考えているのか、お伺いしたい。

○事務局

田口座長のご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響は、地方創生の取組のみならず市の事業全体に大きな影響があったと考えている。

地方創生の取組も、新型コロナウイルス感染症の流行当初は、予定していたイベントができないなど、なかなか事業の実績が上げられないなどの影響があったところである。しかしながら、少しずつ状況に変化が出てきたこともあり、現在は、工夫しながら事業を実施しているところである。

例えば、学生お試し移住・定住促進プロジェクトは、空知管内の自治体に泊まりながらその土地の良さを学生に知ってもらうという取組を進める予定だったが、日帰りで、また、なるべく外で活動するなど、工夫しながら事業を実施したところである。

二つ目の海外展開促進事業も、海外フェアができずにいたが、今年度も2月、3月頃に台湾でフェアを開催するなど、状況が少しずつ変わっていると感じている。

総じて新型コロナウイルス感染症の影響を受けていないとは申し上げられないが、受けながらも工夫をして、状況の変化に応じて取り組んでいることをご理解いただければと思う。

○田口座長

各委員から質問、意見はないか。

○龍田座長代理

先日の新聞で、東川町において、ふるさと納税を活用して、個人の方のコレクションなどを展示する施設を整備するという記事を読んだ。芸能人のタモリさんが1万枚のレコードを寄贈するといった波及効果があったようで、非常に面白い取組だと思った。

今回、旧町村農場を新たな施設として地域振興に寄与していくことになるが、このような取組も地方創生の予算を使って実施できるということが分かった。

江別市の人口は、約12万人おり、かなり稀なコレクションを保有している方がいると思う。例えば、鉄道に関するもので莫大なコレクションを持っている方がいて、その本人は亡くなっているが、意思としては行政がこれを活用してまちづくりに使ってくれたら良いと仰っている方もいる。そういったものを活用した予算の組み方も検討して良い時期なのではないかと思う。

どの都市でも行っている、当たり障りのない地方創生の取組も良いかもしれないが、江別らしさと言われていた酪農のみならず、江別らしくない形で、個人のコレクションなどを活用した取組もあったら良いと感じたため、発言した。江別市には、山田コレクションという、昔の貴重なSLの資源が眠っており、それをどのように活用するかは活用する方のアイデアや財力に委ねることになると思うが、活用しない手はないと思う。

個人や財団が行うとかなりの金額になるかもしれないが、お金がお金を生むような施設も含めて検討する価値はあるのではないかと思う。

○事務局

東川町は地方創生の取組にかなり積極的な自治体であり、関係人口の取組など、龍田座長代理がお話いただいたような施設整備も積極的に行っている自治体であると認識している。

また、先ほど、田口座長からもお話いただいたとおり、江別市にはまだまだ魅力的な資源が眠っているものと考えている。江別市の魅力を高める上でどういったものが活用できるか検討していかなければならないと思っている。

一方で、何かをすれば財源が必要だということは間違いないため、費用対効果も考えなければならぬと思っている。

○龍田座長代理

了解した。

○田口座長

私は労働分野が専門であるため、お伺いしたい。江別市就労支援プログラム事業について、障がい者や女性の雇用に関しては、国においても様々な取組を行っているところであるが、現在においても、受け入れてくれる企業が偏っていると感じる。このことは、地方部において、特に顕著に表れている。

そういった課題に対する取組が行われると一層有意義な事業になると思うので、今後の展開に期待したい。

○事務局

労働分野の関係は、田口座長のご指摘のとおり、例えば、性別や属性を明記して求人募集することが原則禁じられるなど、国では様々な制度を作っているが、実態が制度に即したものになっているかは、難しい部分もあることは承知している。江別まちなか仕事プラザにおいて、協力いただける企業を開拓する中で、様々な方の雇用が確保されるよう、引き続き努力していきたい。

3 その他(1)第7次江別市総合計画策定に係る取組状況と今後のスケジュールについて、事務局説明

4 閉会